

第48期
中間報告書

2013年4月1日～2013年9月30日



株主の皆様へ



代表取締役社長

榎本 正昭

株主の皆様におかれましては、格別なるご支援を賜り心より厚く御礼申し上げます。第48期中間報告書をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

エノモトグループは「経営の中心は人であり、健全なモノ造りを通じて、豊かな社会の実現に貢献する」という志を経営理念とし、1962年（昭和37年）の創業以来、多くのプレス加工に関する新技術を開発し、打ち抜き加工・曲げ加工・絞り加工・モールド加工等広範囲のジャンルの金型技術を確立し、また、日進月歩で軽薄短小化・高機能化・多機能化する市場ニーズに応えるべく、金属とプラスチックの超微細複合加工技術を確立し、日本のモノ造りに貢献して参りました。

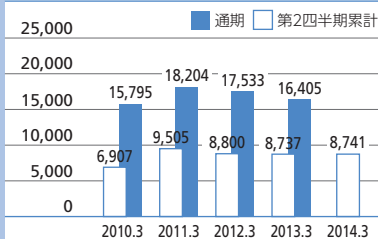
その時代で求められる市場ニーズにエノモト独自の技術力を駆使し迅速に対応を図ってきたことにより、これまでにIC・トランジスタ用リードフレームをはじめ、リレー用部品、オプト用リードフレーム及びマイクロピッチコネクタ用部品へとその事業領域を順次拡大して参りました。

特に地球温暖化防止に貢献する省エネルギー関連製品として、急速に普及が進んでいるLED（発光ダイオード）に代表されるオプト用リードフレームをはじめ、ユビキタス時代の代表的なハー

財務ハイライト（連結）

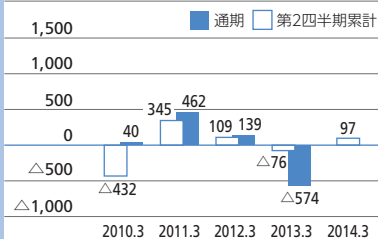
売上高

（単位:百万円）



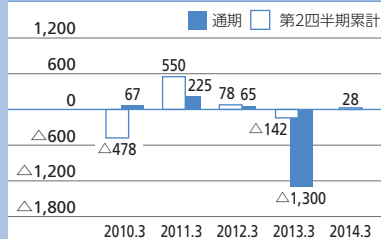
経常損益

（単位:百万円）



四半期(当期)純利益

（単位:百万円）



ドウェアであるスマートフォン等のIT機器に搭載されているマイクロピッチコネクタ用部品は、今後の社会の発展を支えるキーテクノロジーの一つであると自負しております。また、それらの製品を世界中の主要メーカーに供給していることにより、当社グループが今後とも豊かな社会を実現するために必要な存在であり続けることができるものと信じております。

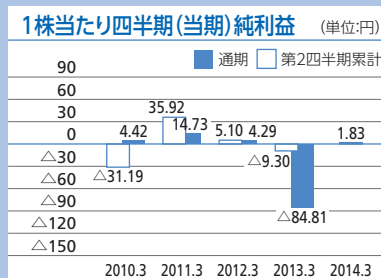
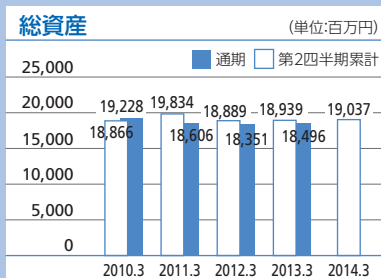
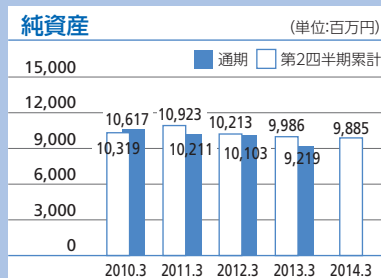
当社グループは現状に甘んずること無く、将来のユーザーニーズ及び地域的需要に対応すべく、積極的に最適地生産体制の構築を進め、市場競争力の強化にも努めて参りました。現在、国内は塩山、上野原、下田、津軽、岩手の計5工場体制、海外においてはフィリピン（カビテ・セブ）、及び中国の計3工場の体制をとっており、グローバルな供給体制に対応できるアジアでも有数の金属と樹脂の精密複合加工メーカーとして確固たる地位を確立しております。

当社グループは、今後益々グローバル化が進展し不確実性が増していく経営環境下において、力

強く成長し続ける企業グループを目指し、2011年度より2015年度の5年間にわたる中期経営方針のもと事業展開を進めております。また、本方針のメインテーマとして『経営品質の向上と新たな価値の創造』を掲げ、経営機能の強化をはじめとする経営の高度化・深化を追求すると同時に、技術で生きる企業として、イノベーションを通じて新しい価値を創造し、次の時代を担う事業基盤を築き上げて参る所存であります。

なお、第48期中間配当につきましては、前期より低迷している業績の状況ならびに厳しさを増す経営環境等を勘案し、誠に遺憾ながら、当初予想通り無配とさせていただきたいと存じます。株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、可能な限り早期に復配できるよう努めて参りますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2013年12月



| 事業別の概況

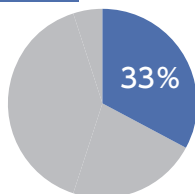
IC・トランジスタ用リードフレーム

売上高

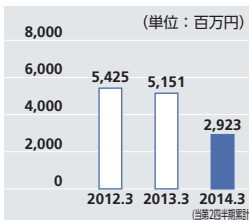
2,923百万円  11.7%増

当製品群は、車載向け、民生用機器向けが主なものであります。市場鈍化の影響から、総じて民生用機器向けの電子部品の需要が伸び悩んでおりますが、各自動車メーカーが増産傾向にあることやカーエレクトロニクス化の進展を背景に車載向けデバイス用部品等の需要が拡大しております。その結果、当製品群の売上高は29億2千3百万円（前年同期比11.7%増）となりました。

売上高比率



売上高推移



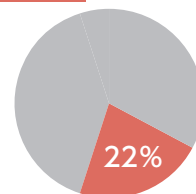
オプト用リードフレーム

売上高

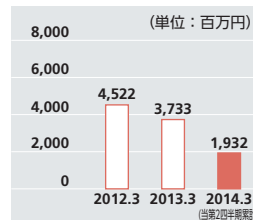
1,932百万円  6.2%減

当製品群は、LED用リードフレームが主なものであります。台湾・中国メーカーの台頭による国際市場での競争激化を背景にLEDの供給過剰状態が続いていることから、前期後半より国内の主要ユーザーを中心に在庫調整の動きが続いております。その結果、当製品群の売上高は19億3千2百万円（同6.2%減）となりました。

売上高比率



売上高推移



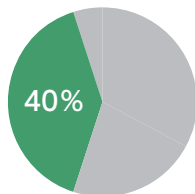
コネクタ用部品

売上高

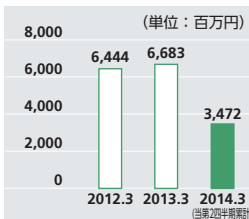
3,472百万円  4.1%減

当製品群は、携帯電話・スマートフォン向け、デジタル家電向けが主なものであります。スマートフォンやタブレット型端末等のアイテムを中心に急拡大して参りましたが、ハイエンド市場の成熟により過熱した状況が解消されつつあることから主要ユーザーを中心に在庫調整の動きが続いております。その結果、当製品群の売上高は34億7千2百万円（同4.1%減）となりました。

売上高比率



売上高推移



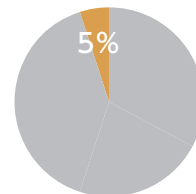
その他

売上高

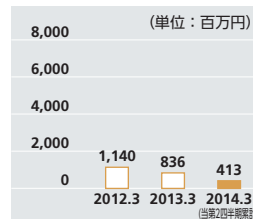
413百万円  6.0%減

その他の製品群としては、リレー用部品が主なものであります。当製品群の売上高は4億1千3百万円（同6.0%減）となりました。

売上高比率



売上高推移



第2 四半期連結累計期間の概況

当第2 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀による金融緩和への期待感から、円安・株高を背景に企業収益が改善するなど景気回復の兆しが見受けられました。一方で世界経済は、米国経済の緩やかな回復傾向が継続しているものの、欧州での景気低迷が長期化し、中国・インド等の新興諸国における経済成長が低下する等、世界経済は全体的に停滞した状況が続き、先行きも楽観視できない状況であります。

当社グループの属する電子部品業界におきましては、民生用のパソコン、テレビ、デジタルカメラ等は依然として厳しい状況が続いているものの、産業機器や自動車向けデバイス部品需要の回復が見られてきております。

このような経営環境下において、当社グループといたしましては、製造時の歩留まり率向上を主眼とした品質改善活動や製造コスト低減の推進をはじめ、当社の強みである金属と樹脂の精密複合加工技術をベースに新規の顧客開拓を積極的に行う等、全社一丸となって業績の回復に取り組んで参りました。

その結果、第2 四半期連結累計期間の売上高は87億4千1百万円（前年同四半期比0.0%増）となりました。また、営業利益は4千1百万円（前年同期は営業損失2千8百万円）、経常利益9千7百万円（前年同期は経常損失7千6百万円）、四半期純利益は2千8百万円（前年同期は四半期純損失1億4千2百万円）となりました。

通期の見通し

第3 四半期以降の見通しにつきましては、欧州経済の低迷や中国経済の成長鈍化等の不透明感はあるものの、

輸出環境の改善や経済対策の効果等を背景に、受注は緩やかながら改善するものと見込んでおります。

なお、当社グループが対処すべき課題として、中期的な経営方針として掲げた項目の実現のために、特に年度ごとに経営重点課題を設定して全社的な取り組みを推進しております。新中期経営方針の3年目にあたる2013年度の経営重点課題としては、前年度に引き続き事業活動の中心となる「経営判断」「顧客対応」「モノ造り」の全ての過程においてスピードアップを図ることを掲げ、当社グループの総力を結集して、業績の回復・拡大に専念して参ります。

通期の連結業績予想

通期の連結業績予想につきましては売上高は171億5千万円（前連結会計年度比4.5%増）、営業利益3億5千万円、経常利益3億円、当期純利益2億円を見込んでおります。

売上高	17,150百万円
営業利益	350百万円
経常利益	300百万円
当期純利益	200百万円

| 四半期連結財務諸表

■ 四半期連結貸借対照表 (要旨)

(単位:千円)

科 目	前連結会計年度末 2013.3.31	当第2四半期 連結会計期間末 2013.9.30
資産の部		
流動資産	6,926,390	7,711,393
固定資産	11,570,118	11,326,451
有形固定資産	10,160,070	10,294,651
無形固定資産	132,644	138,041
投資その他の資産	1,277,404	893,759
資産合計	18,496,509	19,037,845
負債の部		
流動負債	6,564,197	7,196,789
固定負債	2,712,890	1,955,422
負債合計	9,277,087	9,152,212
純資産の部		
株主資本	10,289,119	10,317,199
資本金	4,149,472	4,149,472
資本剰余金	4,459,862	4,459,862
利益剰余金	1,688,660	1,716,757
自己株式	△8,876	△8,892
その他の包括利益累計額	△1,069,697	△431,566
純資産合計	9,219,421	9,885,633
負債純資産合計	18,496,509	19,037,845

Point 1

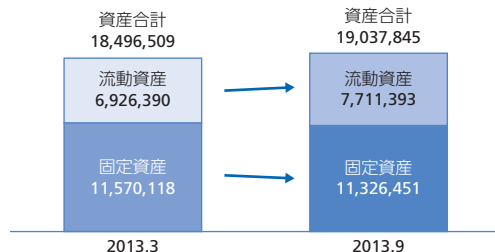
資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前期に比べ5億4千1百万円増加し、190億3千7百万円となりました。流動資産は、現預金及び売掛債権の増加により前期に比べ7億8千5百万円増加の77億1千1百万円となり、固定資産は投資その他の資産の減少により前期に比べ2億4千3百万円減少の113億2千6百万円となりました。

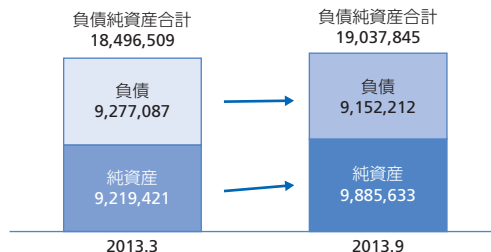
一方、負債合計は、前期に比べ1億2千4百万円減少し、91億5千2百万円となりました。これは主に仕入債務の増加及び役員退職慰勞引当金の減少によるものです。

また、純資産は為替換算調整勘定の増加により98億8千5百万円となりました。この結果、自己資本比率は51.9%となりました。

(単位:千円)



(単位:千円)



Consolidated Financial Statements

■ 四半期連結損益計算書 (要旨)

(単位: 千円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 2012.4.1~2012.9.30	当第2四半期 連結累計期間 2013.4.1~2013.9.30
売上高	8,737,765	8,741,052
売上原価	7,869,013	7,847,126
売上総利益	868,751	893,925
販売費及び一般管理費	896,964	852,904
営業利益又は営業損失 (△)	△28,212	41,021
営業外収益	41,742	130,080
営業外費用	89,867	73,184
経常利益又は経常損失 (△)	△76,337	97,917
特別利益	6,891	2,065
特別損失	54,170	20,328
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失 (△)	△123,616	79,654
法人税、住民税及び事業税	29,670	34,311
法人税等調整額	△10,737	17,245
法人税等合計	18,933	51,557
少数株主損益調整前四半期純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△142,550	28,096
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△142,550	28,096

Point 2

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前第2四半期連結会計期間末に比べ6億2百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には19億1千6百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は6億6百万円（前年同四半期は6億6百万円の取得）となりました。これは主にたな卸資産の減少2億1千4百万円及び減価償却費5億4千万円、仕入債務の増加2億4千9百万円による資金の増加、役員退職慰労引当金の減少4億9千8百万円による資金の減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

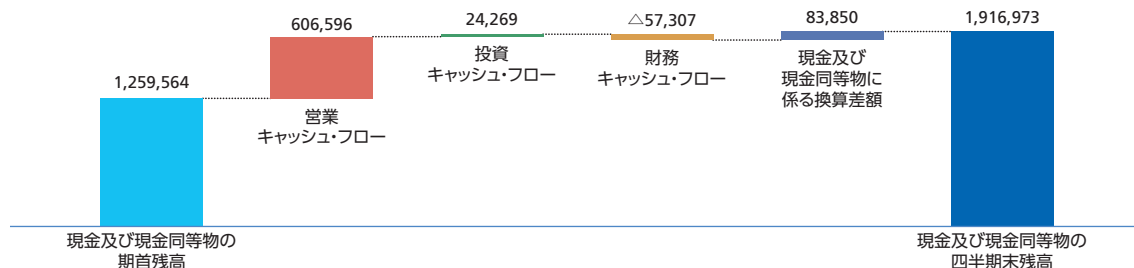
投資活動の結果得られた資金は2千4百万円（前年同四半期は8億2千9百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出3億8千6百万円及び投資その他の資産の減少4億7百万円による資金の増加であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は5千7百万円（前年同四半期は1億8千9百万円の取得）となりました。これは主に短期借入金3億3千7百万円の増加及び長期借入金3億8百万円の返済によるものであります。

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位: 千円)



■株式の状況

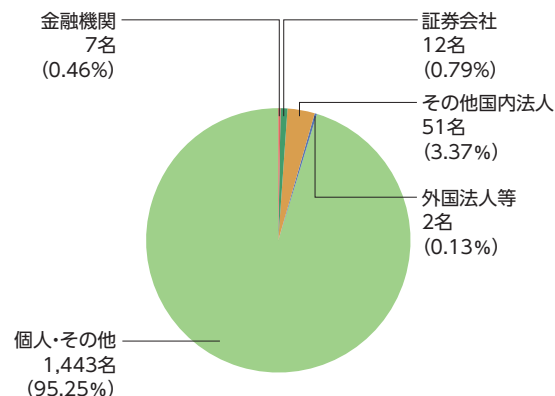
発行可能株式総数 37,600,000株
 発行済株式の総数 15,348,407株
 株主数 1,754名

大株主

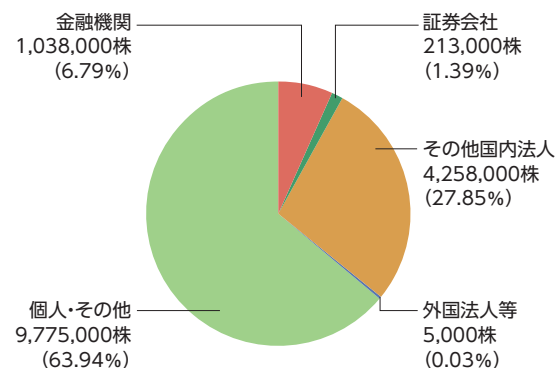
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社エノモト興産	2,000	13.0
有限会社エムエヌ企画	1,098	7.1
榎本保雄	690	4.5
エノモト従業員持株会	523	3.4
株式会社山梨中央銀行	453	2.9
榎本信雄	365	2.3
櫻井宣男	234	1.5
榎本貴信	230	1.5
櫻井妙子	220	1.4
榎本寿子	220	1.4

(注) 持株比率は自己株式(21,750株)を控除して計算しております。

所有者別株主数比率



所有者別株式数比率



■会社概要 (2013年9月30日現在)

社名	株式会社エノモト
本社	山梨県上野原市上野原8154番地19 TEL 0554 (62) 5111
創業	1962年7月1日
資本金	4,149,472千円
従業員数	519名
事業内容	各種電子部品用プレス加工品及び 射出成形加工品の製造販売
子会社	ENOMOTO PRECISION ENGINEERING (S) Pte.Ltd. ENOMOTO PHILIPPINE MANUFACTURING Inc. ENOMOTO HONG KONG Co.,Ltd. ZHONGSHAN ENOMOTO Co.,Ltd.

■役員 (2013年9月30日現在)

代表取締役社長	榎本正昭	取締役	白鳥 誉
専務取締役	山崎宏行	取締役	成田幸則
取締役	櫻井宣男	常勤監査役	倉田明保
取締役	伊藤一恵	監査役	小野勝彦
取締役	武内延公	監査役	平井雅規
取締役	小澤志郎		

■国内拠点

リードフレーム事業本部・営業部
〒409-0198 山梨県上野原市上野原8154番地19
TEL 0554 (62) 5113 FAX 0554 (62) 4319

塩山工場
〒404-0036 山梨県甲州市塩山熊野666番地
TEL 0553 (32) 1111 FAX 0553 (32) 1159

上野原工場
〒409-0198 山梨県上野原市上野原8154番地19
TEL 0554 (62) 5115 FAX 0554 (62) 4089

コネクタ事業本部・営業部
〒409-0198 山梨県上野原市上野原8154番地19
TEL 0554 (62) 5112 FAX 0554 (63) 2633

下田工場
〒413-0713 静岡県下田市加増野字大古隅12番地1
TEL 0558 (28) 1550 FAX 0558 (28) 1552

津軽工場
〒037-0017 青森県五所川原市大字漆川字玉椿191番地1
TEL 0173 (33) 0570 FAX 0173 (34) 5206

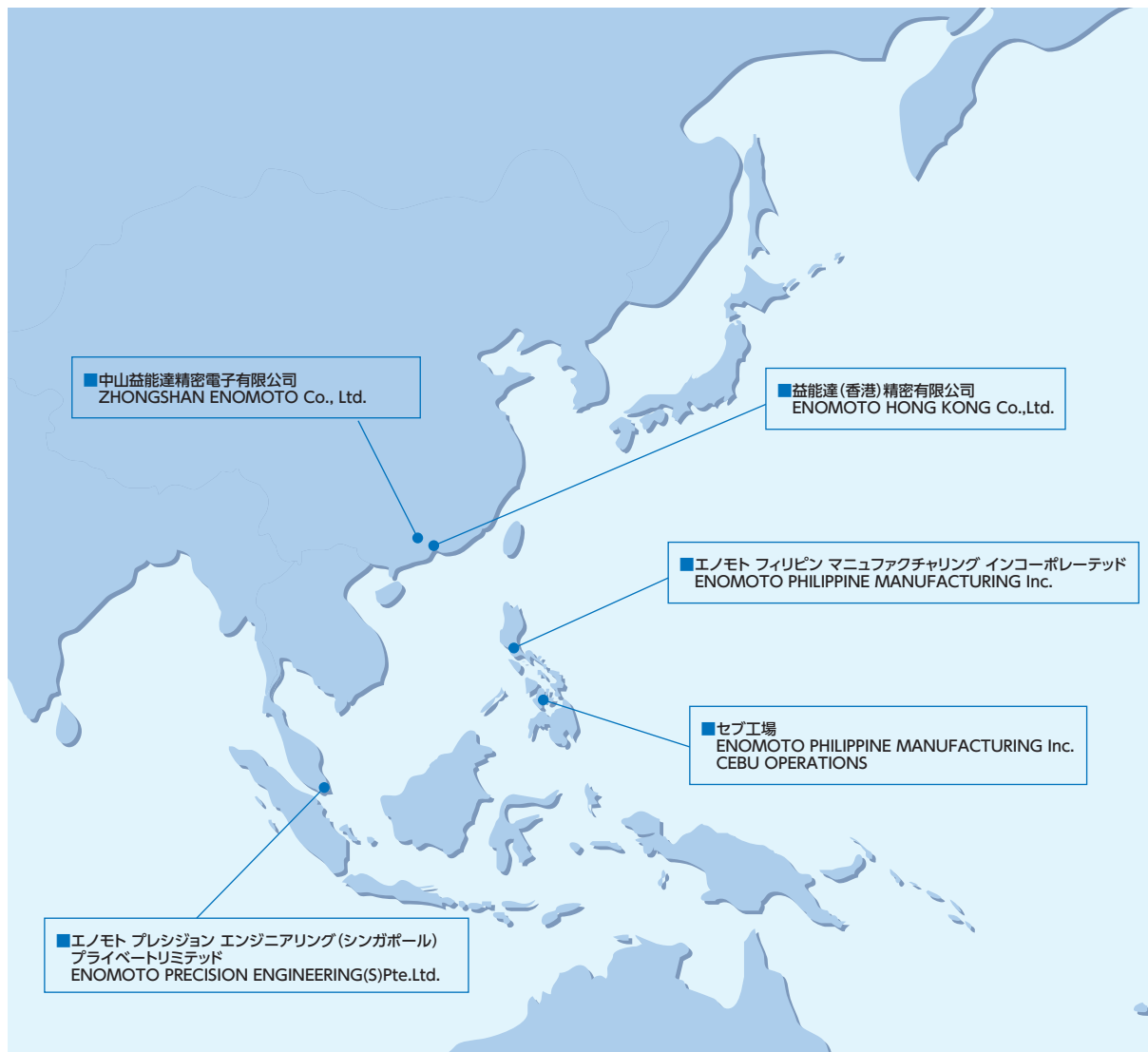
岩手工場
〒028-1131 岩手県上閉伊郡大槌町大槌第10地割39番地
TEL 0193 (42) 8511 FAX 0193 (42) 8513

ホームページのご案内

<http://www.enomoto.co.jp>

最新の当社IR情報等をご覧ください。





株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日
定時株主総会 毎年6月下旬
基準日 定時株主総会・期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
特別口座の
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の
本店及び全国各支店で行っております。

- ・住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・「配当金計算書」について
配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。
*確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」 TEL:03-5777-3900 (平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



<http://www.e-kabunushi.com>

アクセスコード 6928

いいかぶ

検索



空メールにより
URL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で簿籍(図書カード500円)を贈呈させていただきます

ENOMOTO Co.,Ltd.



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

